

原発賛成！！

2011年3月11日、大地震・大津波により福島第一原発の機能が麻痺し、メルトダウンや放射性物質の大気中への拡散、海中への排出・汚染。福島県の県民にも国民にも、時の総理が菅だったことが最大の悲劇・不運だった。原発へ邪魔をしに行くし、SPEEDIの情報を隠蔽するし、当の東京電力は他人事みたいに考えていたし、あらゆることが「原発への不信」を煽ることばかりだった。しかし、このときの判断で最大と言っていいほど馬鹿馬鹿しい判断ミスは、「全国の原発の稼働を停止させた」ことである。

さいわいにして、亡くなられた方がひとりもいなかったことが救いであるが、今後数十年単位で、発がんの可能性は遺されている。被害を受けるかもしれないと避難した人々は数10万人、数100万人単位になるだろう。食物などへの風評被害は、計算できないほどになっているだろう。政府の無策のせいも多々ある。「避難しろ」「どこへ？」「自分でさがせ」・・・無茶な話ではある。

2012年になって、電気が足りなくなりそうなことから節電だけでは間に合わず、停電の可能性が示唆され、若狭湾の原発を再稼働させるに至った。すると、「反対運動」が急激に盛り上がり、10万人におよぶ集会やデモ行進などが頻発するようになる。売れない役者や何のためのノーベル賞かわからないのがしゃしゃり出てきて声高に「原発反対！」を叫ぶ。・・・理論に基づいてのものではなく、大多数は感情的なもので、一種の集団ヒステリーのようなものである。あろうことか、鳩山まで出てくる始末である。元総理に対し、失礼ながら、あまりに自分の言ったことと矛盾しているから「おまえ、アホか？」と言いたくなる。(現に言っていますが)(後述)

この時に、それまで化石燃料の燃焼に伴う二酸化炭素による地球温暖化を叫んでいた連中がひと言も発しないのはどういうことなのか？ せっかく電気自動車を開発して得意になっていた自動車会社の努力を踏みにじるものである。

原発賛成の理由はいくつかあるが、原発停止で必然的に火力発電に頼らざるを得ない。つまりは石炭や石油などの化石燃料の使用が増大することになる。

水力発電はそんなに急速に増加させることはできない。みなさん、いろいろなことを考えて、風力発電、地熱発電、そして究極のエネルギーともいえる太陽光発電を増大させる。・・・・・・すべてをたしても現時点での総発電量の1%未満である。つまりは、「誤差範囲」である。菅は、「1000万戸に太陽光発電を」と口走り、こいつは何もわかってへんわ。・・・・・・「有毒物質を多数含む蓄電池を、管理の行き届かない1000万戸もの一般家庭に取り付けるというのは、電池の寿命や、故障したときの産業廃棄物の観点からいえば、非常にやっかいな問題となる」。(藤沢数希氏:「反原発」の不都合な真実) このときのために生きてきた、などと孫某が言ったというが、アホか。こんな胡散臭い人間がやろうとしていることが信用できますか！ 太陽光発電なんか、繰り返すが全発電量の1%を超えることなく、「誤差範囲」にすぎない。・・・・・・誰にも何者にも影響を及ぼさないような発電があるはずがない。どこかで妥協するしかない。たとえば風車をまわしたら低周波がでて知らぬ間に聴力や脳に影響がでるだろうし、第一うるさい。地熱発電ができるのは火山のそばで、温泉地・観光地である。だれを納得させることができるのか？ アイスランドでは温泉に入る習慣がないからできるのである。潮汐発電は目鼻もついていない。水力発電はこれ以上は望めないだろう。いっそ「八ッ場ダムを建設」して、その一助にすれば？ あるいは、国民全体が一斉に自転車を必死でこぐ。これは冗談ですが、で、現在電気は火力発電に頼りきっている状態である。こんなバタバタした状態で石炭なり石油なりを短期間に「輸入」するなら、当然足元をみられて高値で購入しなければならない。兆の単位で化石燃料を購入し、一説に、米国が買っている石油の10倍の値段を払っているという。その間、原発の燃料は使われることなく、ほったらかしである。・・・・・・もったいない。

ボクは原発が出来た頃から、周辺の草花に突然変異が頻繁に発生していることも知っている。また、自動車や火力発電で発生してくる大気汚染でいろいろな病気が出現し(たとえば、四日市や尼崎の大気汚染などによる呼吸器系の重篤な障害)、そのために亡くなっていく人が多いことも知っている。(藤沢氏によれば年間100万人単位という) それでも原発は必要で、これまでの経済発展に少なからず貢献してきた。

国家のエネルギー政策は、100年単位で考えるもので、とりあえず目先の追求から逃げるために「その場しのぎ」の原発停止には大反対である。

酷いのは、鳩山である。首相になった途端に「炭酸ガス25%削減」と日本のみならず世界中を驚かせた。しかも、その後の言動からみて、単なる思いつきであった可能性が高い。誰かに入れ知恵されたのだろうか、その背景には、ひとえに「原発」があったからではないか。あれは単に見栄を張っただけのこと。・・・ここでは関係がないが、日米関係がギクシャクし始めたのも、沖縄から米軍を撤退せしめる、という発言からである。しばらくして、「抑止力」に気がついて（というより、誰かがそれを指摘したからではないだろうか？）やっぱり沖縄に米軍基地が必要だ、と言い出す始末である。沖縄と現政権とが意志疎通ができないのは、ここに原因がある。・・・その舌の根もかわかぬうちに、何時の間にか「反原発」の集会にノコノコでかけて言わでもの発言をする。・・・民主党政権に裏切られたという思いは、日本中が持っている。・・・嘘だと思うなら、今すぐ選挙をすればいい。

「現時点では原発は絶対に必要なもの」で、世論調査（これも一般には信用できないものの代表みたいなものであるが）で42%もの原発賛成があった、と櫻井よし子さんまでが驚いていることである。その方がボクには驚きであった。原発が存在する土地の人々にとっては迷惑にちがいない。米軍基地が沖縄に圧倒的に多いことと同じことである。しかしながら、それなりの見返りもあったのではないか？ 一方的にそれでいいとは言わないが、いずれどこかがそれを負担せざるを得ない。米軍を追い出すなら、自衛隊ではなく、「国防軍」が必要で、しかも原爆も保有しなければならない。

福島事故を起こした原発にしても、そのおかげで冬に出稼ぎに行かなくてもよくなった、と土地の老人が苦しい胸の内を語っていた。

日本中が原発反対であっても、大局からみて、現時点では原発がなければ日本が、日本の経済が停滞してしまうのみならず、滅びてしまうかもしれない。

いま、新たな構想のもとに、危険度の低い原発が考えられている。もともと

原発の原理は、有史以前に自然発生してきたものである。

たとえば、数 10 年後に原発に替わるエネルギーがみつければ、**危険**な原発を使わなくても良い状況になれば、ボクは原発不要論に賛成するだろう。たとえばメタンハイドレートの発掘がようやく実現しようか、という段階に入っている。もともと、もっと早くからこれを原子力に替わるエネルギーとして同時進行しておくべきだったのだ。

ことほど左様に日本という国家はノー天気だったのである。ボクは原子力村とも関係がないし、反原発でも、脱原発でもない。その時その場に依拠してもっとも良いエネルギーを使えば良いと思っている。いまさら、蠟燭の時代にはもどれない。できたものを消滅させることの方がよりエネルギーを必要とする。

原発が今回のような地震と津波によって崩壊する危険を言うなら、こんな地震の巣のような日本で原発を建設することは、綱渡りのようなもので、「絶対安全」なものを作れない。これは火力発電においてもそうであるし、それがいやなら日本を捨てるしかない。・・・・・・自動車は便利であるが、いったん事故を起こせば数人、数 10 人単位の死者がでる。飛行機事故なら数 100 人単位である。その危険度は原発の事故と比べてどの程度なのだろう。

ドイツでは自国に原発をつくらない、と国民投票で決めた。で、電気は、となりのフランスから原発で作られたものを買う。なんだ、結局は「原発の電気を使っている」わけだ。自国の危険を避けて、危ないことは他国にやらせているだけじゃないか。こういうのを**卑怯**という。

政府は 2030 年代には原発ゼロにするという。わずか 20 年先ではないか。その間に炭酸ガスを発生しない代替エネルギーの開発が可能なのか？・・・・・・無能な政府や役人にできるかどうか、賭けてみませんか？ ボクは「無理」のほうです。当然ですが。

2012. 08. 21.